

管 理 會 計

有斐閣双書

管 理 会 計

久保田音二郎編



有斐閣双書

* 入門・基礎知識編 *

編者紹介

1934年 神戸商業大学(現 神戸大学) 卒

1971年 神戸大学名誉教授

現在 京都学園大学教授

著書 「間接費計算論」「短期損益計算論」「直接原価計算論」
「直接標準原価計算」「適正表示の監査」その他



有斐閣双書

管 理 会 計

¥1,100.

昭和51年3月25日 初版第1刷発行

昭和54年1月30日 初版第4刷発行

編 者

くぼた おとじろう
久保田音二郎

発 行 者

え ぐさ ただ あつ
江 草 忠 允

東京都千代田区神田神保町2〜17

発 行 所 株式会社 有 斐 閣

電 話 東京 (264) 1311 (大代表)

郵便番号 [101] 振替口座 東京6-370番

本郷支店 [113] 文京区東京大学正門前

京都支店 [606] 左京区田中門前町44

印刷・株式会社天理時報社 製本・昭栄堂製本印刷株式会社

©1976, 久保田音二郎, Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

1334-098071-8611

は し が き

わが国では、管理会計ということばは、かなり以前から用いられており、またその内容も予算統制とか標準原価などからなるものだと、漠然と考えられていたのである。ところが、最近になって経済社会的な諸環境が大きく変わり、またこれに即応して、企業の行動も非常に複雑になったために、これまでには考えられていなかった新しい多くの管理会計上の問題が矢継ぎ早に台頭してきたことは周知のとおりである。しかも、その問題は、在来の会計的な考えばかりでなく、経済学的な考え方や経営学的な思考などが加えられ、またその計算の処理手続にも数学や統計的方法などを採り入れられるがように、これまでにみられなかった新しい管理会計上の問題があった。そこで、現今の管理会計といえ、これまでの問題や新しい問題が企業の行動をめぐって広範に取りあげられるように変わってきたから、このような管理会計とは、一体いかように整理して体系的に理解したならばよいかについて、戸惑うことはなにびとも痛感しているところであろう。

本書は、かかる現状にかんがみて、管理会計とは、いかなる狙いどころや大筋をとらえて理解し、またその研究を進めて行くべきかという方向づけを叙述するために編集したものである。この意味において、本書は、大学のテキスト・ブックまたは参考書として、さらに実業界のひとびとには最近の諸問題に照して既修の知識の整理にも役立ちうるものと考えている。

このような趣旨であるから、本書では問題を二つに大別した。

その一つは、企業の経営構造に関連する「意思決定会計」として、投資計画・資本予算と長期利益計画をめぐる問題を取りあげ、いま一つは、企業の日常の行動や業務活動の管理に関連する「業務的管理会計」として、業務上の計画会計と業績への統制会計をめぐる諸種の問題を取りあげ、しかもこれらが企業の管理者層の上下によって、その管理的役割が違うことを明らかにした次第である。しかし、なにぶんにも紙幅の関係もあって、いずれの具体的なテーマも概略的な説明に終わっていることはやむをえないが、こうした管理会計の構想で考えて行くことには、なおも不十分な点もあろう。しかし、現今の管理会計における種々の問題を総合的に理解し、またこの方面の研究を進めるうえで、本書が一つの指針になりうるところがあれば幸であると考えている。

なお、本書の編集にあたっては、執筆者各位が執筆分担のほか、この編集上のさまざまな事務にも献身的な協力を惜しまれなかったこと、また有斐閣の岡村孝雄氏が格別のご援助を下されたことを記して、ここに謝意を表する次第である。

1976年1月

久保田 音二郎

わが社は、創業 70 周年記念出版の一として「有斐閣全書」を、次いで「教養全書」を、また 80 周年記念として「法律学全集」を、さらに随時各種の「講座」「演習」「辞典」などを刊行し、戦後における学術の発展と普及に大きな役割を果たしてきた。

しかし、近時の大学教育のめざましい進展により、学習・研究者の層が著しく拡大されてきたこと、さらに最近の社会的・経済的情勢の変化に伴ない、社会人の再教育が重要性を加え、かつ実務上の問題解決に正しい指針を与える良書を求める声の大なることを顧慮するとき、旧来の殻を破った新しい双書の必要を痛感するに至った。

『有斐閣双書』は正にその要請に応えるために企画されたもので、法律・経済・社会などの社会科学を中軸とし、広く人文科学その他の関連分野にわたる従来の研究の貴重な成果をとり入れ、表現は平易・簡潔に、内容は必要にして十分なコンパクトなものであることを期している。

本双書は、次の二つを主な内容とする。まず、〈入門・基礎知識編〉では、初学者のためのやさしい教科書、既修知識を能率よく整理するための参考書、さらに、通常の教科書では初学者には理解しにくいもの、または十分に論じ及んでいない問題についての、分りやすい解説などを収め、それぞれの読者層に対応した正しい基礎知識を提供する。

次に、〈理論・実務編〉では、理論・実務上の重要なテーマについて、専門分野の枠にとらわれることなく総合的に解説し、研究者にとっては、研究の豊かな糧となり、実務家にとっては、日常の執務のよき相談相手となることを期するものである。

執筆者には、それぞれの問題について、造詣の深い新鋭と権威をお願いし、読者の要望に正しく応えうるように最善の配慮をしている。この双書発刊の意義と熱意をくまれ、心からなる御支援をお願いしてやまない。

(昭和 39 年 3 月)

有斐閣双書 既刊と続刊

*印は続刊 †印は理論・実務編

末川 博編
法 学 入 門

伊藤正己・加藤一郎編
現代法学入門

渡辺洋三編
法 の 常 識
<改訂版>

伊藤正己・加藤一郎編
教材法学入門

天野和夫著
法 思 想 史 入 門

柴田光蔵著
ローマ法の基礎知識

伊藤正己著
憲 法 入 門

大西芳雄編
憲 法 概 説

阿部照哉・池田政章編
憲 法
(1) 総 論 (全4巻)
(2) 基本的人権 1
(3) 基本的人権 2
(4) 統治機構

綿貫芳源・高原賢治編
憲 法 25 講

小嶋和可著
憲 法 概 観
<新版>

宮田 豊・阿部照哉
畑 博行・中川 剛著
基 本 憲 法

奥平康弘・杉原泰雄編
憲 法 学
(1) 人 権の
基本問題 1 (4) 統治機構の
基本問題 1
(2) " 2 (5) " 2
(3) " 3 (6) " 3
(全6巻)

伊藤正己・阿部照哉
尾吹善人編
憲 法 小 辞 典
<増補版>

芦部信喜・小嶋和可
田口精一著
憲 法 の 基 礎 知 識
一質問と解答一

阿部照哉・池田政章編
憲 法 判 例
<増補版>

佐藤 功編
教 材 憲 法 入 門

今村成和著
行 政 法 入 門
<新版>

杉村敏正編
行 政 法 概 説 総論

杉村敏正編
行 政 法 概 説 各論

成田頼明・荒 秀・南 博方
近藤昭三・外間 寛著
現 代 行 政 法

南 博方・田村悦一
原田尚彦編
行 政 法
(1) 行政法総論 (全3巻)
(2) 行政手続・行政争訟
(3) 地方自治法

広岡 隆著
行 政 代 執 行 法
†

杉村敏正・広岡 隆
國部逸夫著
行 政 法 の 基 礎 知 識
一質問と解答一

広岡隆・室井力・塩野宏編
行 政 法 判 例
<改訂版>

遠藤博也著
都 市 計 画 法 50 講
†

鈴木禄弥・高原賢治編
土 地 収 用 法 50 講
†

下出義明編
土 地 区 画 整 理 法 50 講
†

遠藤 浩・荒 秀・中村博英編
建 築 基 準 法 50 講
†

南 博方著
* 租 税 法 入 門

小松芳明著
法 人 税 法 概 説

幾代 通・遠藤 浩編

民法入門

谷知口平・於保不二雄編

民法概説

(1) 総則・物権 (全3巻)

(2) 債権

(3) 親族・相続

遠藤 浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編

民法

(1) 総則 (6) 契約各論

(2) 物権 (7) {事務管理

(3) 担保物権 (7) {不当利得

(4) 債権総論 (8) 親族

(5) 契約総論 (9) 相続

椿 寿夫著

財産法 25 講

<新版>

田中 実編

*不動産法概説(1)

—民法—

荒 秀・小高 剛編

不動産法概説(2)

—行政法—

島津一郎著

家族法入門

佐藤隆夫著

現代家族法 50 講

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編

民法学

(1) 総論の重要問題 (5) 契約の重要問題

(2) 物権 (6) 不法行為

(3) 担保物権 (7) 親族相続

(4) 債権総論 (全7巻)

幾代 通・鈴木禄弥
広中俊雄著

民法の基礎知識(1)

—質問と解答—

高梨公之・染野義信
篠原弘志著

民法の基礎知識(2)

—質問と解答—

甲斐道太郎・乾 昭三
椿 寿夫編

民法判例(1)

—総則・物権— <新版>

甲斐道太郎・乾 昭三
椿 寿夫編

民法判例(2)

—債権— <新版>

中川 淳・久貴忠彦編

民法判例(3)

—親族・相続—

水本 浩・高木多喜男編

民法 300 題

鈴木禄弥著

根抵当法の問題点

†

谷口知平・植林 弘著

損害賠償法概説

†

五十嵐 清・田宮 裕著

名誉とプライバシー

†

野村好弘著

自動車事故の民事判例

†

野村好弘著

医療事故の民事判例

†

野村好弘著

名誉侵害の民事判例

†

野村好弘著

学校事故の民事判例

†

野村好弘著

公害の判例

†

野村好弘著

日照の判例

†

太田武男著

夫婦の法律

†

<新版>

太田武男・久貴忠彦著

親子の法律

†

<改訂版>

太田武男著

*相続の法律

†

久貴忠彦著

判例特別縁故者法

†

服部栄三・北沢正啓編

商

法

<改訂版>

大隅健一郎・大森忠夫編

商法概説

(1) 総則・会社 (2) 商行為・手形等

上柳克郎・北沢正啓

鴻 常夫・竹内昭夫編

*商法総則・商行為法

商法講義 1

上柳克郎・北沢正啓

鴻 常夫・竹内昭夫編

会社法(1)(2)

商法講義 2・3

上柳克郎・北沢正啓

鴻 常夫・竹内昭夫編

手形法・小切手法

商法講義 4

三戸岡道夫著

株式会社法入門
<改訂版>

河本一郎著

約束手形法入門
<新版>

上柳克郎・中西正明編

商法判例
(1)総則・会社 (2)商行為・手形等

今井・神崎・菅原・田村
長浜・蓮井・平出・前田著
コンメンタール会社法(1)
—総則・設立—新株発行—

今井・神崎・菅原・田村
長浜・蓮井・平出・前田著
コンメンタール会社法(2)
—会社の計算—有限会社等—

谷川 久著

商品の売買
†

中田淳一編

民事訴訟法概説
(1)判決手続 (2)強制執行

藤木英雄著

刑 法

平場安治・井上正治
滝川春雄編

刑法概説
(1)総論 (2)各論

福田平・大塚仁・宮沢浩一
小暮得雄・大谷実編

刑 法

(1)総論 (3)各論1
(2)総論2 (4)各論2
(5)各論3
(全5巻)

福田 平・大塚 仁著

刑法の基礎知識
(1)総論 (2)各論

西原春夫・藤木英雄
森下 忠編

刑 法 学

(1)総論の重要問題1 (4)各論の重要問題1
(2) " 2 (5) " 2
(3) " 3 (6) " 3
(全6巻)

藤木英雄編

教材刑法入門

平場安治・宮内 裕編

学説・判例 刑法案内
<新版>

西原春夫・大谷 実編

刑 法 200 題

藤木英雄著

経済取引と犯罪
† 詐欺・横領・背任を中心に

藤木英雄・土本武司
松本時夫著

刑事訴訟法入門

松尾浩也・田宮 裕著

刑事訴訟法の基礎知識
—質問と解答—

佐藤晴夫・森下 忠編

犯罪者の処遇

有泉 亨編

労働法概説
<新版>

菊池勇夫・林 迪広編

労働法大意
<改訂版>

外尾健一著

労働法入門

片岡 昇著

労働法
(1)労働団体法 (2)労働保護法

窪田隼人・本多淳亮

片岡 昇著

労働法の基礎知識
—質問と解答—

青木宗也・片岡 昇
夢沼謙一・横井芳弘編

労働法判例
<新版>

外尾健一・花見 忠編

教材労働法入門

中山・深山・本田・宮本
岸井・伊藤・萬井著

* コンメンタール
労働組合法

花見 忠編

労働基準法50講
†

花見 忠・保原喜志夫編

労災補償安全衛生50講
†

久保敬治著

労使間の交渉手続
†

萩沢清彦著

八時間労働制
†

西原道雄編

社会保障法
<新版>

佐藤 進編

社会保障法判例

佐藤 進・高沢武司編

児童福祉法50講
†

小野昌延著

不正競争防止法概説
†

紋谷暢男著

無体財産権法概論

紋谷暢男編

特許法 50 講
†

紋谷暢男編

商標法 50 講
†

小田 滋・石本泰雄
寺沢 一編

現代国際法

香西 茂・太寿堂 鼎
高林秀雄・山手治之著

国際法概説

沢木敬郎著

国際私法入門

篠原 一・永井陽之助編

現代政治学入門

阿部 齊・内田 満編

現代政治学小辞典

勝田吉太郎・山崎時彦編

政治思想史入門

加藤一明・加藤芳太郎
佐藤 竺・渡辺保男著

行政学入門

齊藤 孝編

国際関係論入門
＜第2版＞

中村英勝著

イギリス議会史
＜新版＞

大石泰彦編

現代経済学入門
＜増訂版＞

荒 憲治郎・福岡正夫編

経 済 学

熊谷尚夫・大石泰彦編

近代経済学

- (1) 基礎理論 (全3巻)
(2) 応用経済学
(3) 近代経済学
-

荒憲治郎・稲毛満春・小西唯雄
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編

経 済 学

- (1) 価格の理論 (4) 経済循環論
(2) 厚生経済学 (5) 所得の理論
(3) 産業組織論 (6) 経済成長論
(全6巻)
-

伊東正則・武野秀樹
平岡規正編

マクロ経済学要論

伊東正則・武野秀樹
土屋圭造編

ミクロ経済学要論

保坂直達・安井修二編

例解近代経済学講義
(1)マクロ経済学 (2)ミクロ経済学

伊東正則・武野秀樹編

近代経済学要論

岡野行秀・根岸 隆編

公共経済学

宮崎義一編

近代経済学研究入門

大谷竜造・斎藤謙造編

現代経済学研究案内

馬場正雄編

計量経済学入門

置塩信雄著

近代経済学批判

手嶋正毅編

経済学の基礎

杉原四郎・佐藤金三郎編

マルクス経済学

横山正彦編

経済学概論

富塚良三編

経済分析入門

古川 哲編

経済学要論

宮本義男編
經 濟 原 論

杉本俊朗編
マルクス経済学
研究入門

出口勇蔵編
經 濟 学 史 入 門

小林 昇編
經 濟 学 史

時永 淑編
經 濟 学 説 史

水田 洋編
社 会 思 想 史

相原 光・土屋六郎編
国 際 經 济 学 入 門
<新版>

水田 博・名和猷三編
国 際 經 济 論

行沢健三編
入 門 国 際 經 济 学

松井 清著
世 界 經 济 入 門
<増訂版>

木下悦二編
貿 易 論 入 門

宇高基輔編
社 会 主 義 經 济 論

千種義人編
經 濟 政 策

加藤 寛・中村秀一郎
新野幸次郎編
經 濟 政 策
(1) 経済政策の原理
(2) 日本の経済政策
(3) 日本の産業政策
(全3巻)

神野璋一郎・吉田義三編
經 濟 政 策 論

野田 稔・中村秀一郎編
經 濟 政 策 入 門
<新版>

百々 和・野尻武敏
野間俊威編
經 濟 政 策 総 論

宮川公男編
シ ス テ ム 分 析 概 論
↑ 一政策決定の手法と応用一

新野幸次郎・伊東光晴編
寡 占 經 济 論
↑

越後和典編
産 業 組 織 論

伊東岱吉・小林義雄
加藤誠一編
工 業 經 济 論

藤田敬三・竹内正巳編
中 小 企 業 論
<新版>

加藤誠一編
中 小 企 業 問 題 入 門
↑

一瀬智司・大島国雄
肥後和夫編
公 共 企 業 論

江見康一・塩野谷祐一編
日 本 經 济 論
一経済成長100年の分析一

美濃部亮吉・御園生 等編
日 本 經 济 入 門
<第2版>

小尾恵一郎編
* 日 本 經 济 分 析 入 門

宮下武平編
日 本 産 業 論

宮沢健一編
産 業 構 造 分 析 入 門

金子敬生編
産 業 連 関 分 析
↑

川上正道・上原信博著
農 業 政 策 論
<新版>

尾上久雄編
經 济 体 制 論

増井健一・佐竹義昌編
交 通 經 济 論

中西健一・平井都士夫編
交 通 概 論

角本良平著
都 市 交 通 政 策 論

福地崇生編
地 域 經 済 学

山田浩之編
都 市 經 済 学

堀江英一著
經 済 史 入 門
＜新版＞

石坂昭雄・船山榮一
宮野啓二・諸田 実著
西 洋 經 済 史

永原慶二編
日 本 經 済 史

後藤 靖・佐々木隆爾
藤井松一著
* 日本資本主義
発達史概説

麓 健一著
貨 幣 論

田村 茂・石川常雄
原 正彦著
金 融 論 入 門

矢尾次郎・川口慎二編
金 融 政 策 入 門
＜新版＞

三宅義夫著
金 融 論

竹村脩一・玉野井昌夫編
金 融 經 済 論
＜新版＞

紅林茂夫・東 米雄
齊藤 健編
銀 行 論 入 門
—日本の金融と銀行—

高木暢哉編
銀 行 論

川合一郎・一泉知永編
証 券 市 場 論
＜改訂版＞

伊牟田・熊野・呉・志村
竹村・野田・浜田著
証 券 經 済 論

木村榮一・庭田範秋編
保 險 概 論

庭田範秋編
保 險 經 営 論

長崎正造著
損 害 保 險 論 入 門

木村榮一編
損 害 保 險 論

庭田範秋編
生 命 保 險 論

新庄 博著
国 際 金 融 論

村野 孝・松村善太郎編
国 際 金 融
—通貨と制度—

小野朝男・西村閑也編
国 際 金 融 論 入 門

幸田精蔵編
外 国 為 替 論 入 門

木村 滋著
外 国 為 替 論

肥後和夫編
財 政 学 要 論
＜新版＞

牛嶋 正・米原淳七郎編
財 政 学 入 門

木下和夫・肥後和夫
大熊一郎編
財 政 学
(1) 財政の理論 (全3巻)
(2) 日本の財政
(3) 日本の地方財政

木下和夫編
財 政 政 策 入 門

高橋 誠・柴田徳衛編
財 政 学

吉岡健次・和田八束編
現 代 地 方 財 政 論

米原淳七郎著
地 方 財 政 学

恒松制治・橋本 徹編
都 市 財 政 概 論

橋本 徹・宇田川瑋仁編
福 祉 財 政 論

森田優三・竹内 清
宮川公男編
統 計 学 入 門

内海軍一郎・木村太郎
三橋信邦編

統計学
<改訂版>

大橋隆憲・高木秀玄
大屋祐雪編

経済統計学

片岡信二著

コンピュータ入門
↑ ハード/ソフト/システム

岸本英太郎編

社会政策入門
<改訂版>

矢島悦太郎編

社会政策概論

吉村朔夫・戸木田嘉久編

現代社会政策

岸本英太郎編

労働経済論入門

小野 旭・南 亮進編

労働経済論

近藤文二編

社会保障入門
<新版>

小山路男・佐口 卓編

社会保障論
<新版>

西村裕通編

労働者福祉論

黒住 章・中鉢正美
松本浩太郎編

老齢保障論
↑

佐口 卓著

医療保険論

桜井信行編

現代経営学入門

中村常次郎編

経営学
<増訂版>

高柳 暁・飯野春樹編

経営学
(1)総論 (2)管理の理論と実際

馬場克三編

経営学概論

岡村正人編

経営学総論

田杉 競編

経営管理総論

松岡碧木編

経営管理論
<改訂版>

米川伸一編

経営史

丹波康太郎編

財務管理概論

細井 卓著

財務管理入門

後藤幸男・森 昭夫編

経営財務

森 五郎編

労務管理論
<増訂版>

海道 進・島 弘編

現代労務管理概論

藤田 忠編

人事管理
↑

人見勝人著

生産の計画理論
↑

涌田宏昭編

経営情報論
↑

森下二次也編

商業概論

深見義一編

マーケティング論
<増訂版>

マーケティング・
サイエンス研究会編

マーケティング調査
↑ 数量化理論の解説と応用

深見義一・佐藤 肇
田島義博編

流通問題入門
↑

久保村隆祐・高城 元編

小売流通入門
↑

久保村隆祐・村田昭治編

広告論

鈴木忠義編
現代観光論

飯野利夫編
現代会計学入門
＜新版＞

山根忠恕編
会計学
＜改訂版＞

青木茂男編
管理会計概論

久保田音二郎編
管理会計

久保田音二郎編
原価会計

大即・岩塚・近藤
敷田・中村・成田著
原価計算

高田正淳編
監査論

大山政雄編
機械会計論
↑

水島恵一編
人間科学入門

水島恵一著
人間学

日本社会学会編集委員会編
現代社会学入門
＜第2版＞

福武直・浜島朗編
社会学

浜島朗・竹内郁郎
石川晃弘編
社会学小辞典

山根常男・森岡清美編
現代社会学の基本問題
↑

浜島朗編
*社会学史

福武直編
社会学研究案内
—問題点と文献解説—

福武直・松原治郎編
社会調査法

安田三郎著
社会調査ハンドブック
＜新版＞

武藤真介著
社会統計学

森岡清美編
家族社会学

岩井弘融編
都市社会学

萬成博・杉政孝編
産業社会学

佐藤毅編
社会心理学

日高六郎・佐藤毅
稲葉三千男編
マス・コミュニケーション入門

千葉雄次郎編
マス・コミュニケーション要論

高木教典編
*マス・メディア産業論

姫岡勤・二関隆美編
教育社会学

大橋薫編
社会病理学

大橋薫・大藪寿一編
都市病理学

大橋薫・四方寿雄
光川晴之編
家族病理学

日本犯罪学会編

犯 罪 社 会 学

青井和夫・松原治郎
副田義也編

生 活 構 造 の 理 論

安田三郎編

現代日本の階級意識

中村八朗著

都市コミュニティ
の社会学

浜島 朗編

現 代 青 年 論

蒲生正男・祖父江孝男編

文 化 人 類 学

吉田禎吾・蒲生正男編

社 会 人 類 学

一番ヶ瀬康子・真田 是編

社 会 福 祉 論
<新版>

吉永 清・今岡健一郎
星野貞一郎編

社 会 福 祉 概 説

小松源助編

ケ ー ス ワ ー ク 論

一番ヶ瀬康子編

児 童 福 祉 論

山口 透編

少 年 保 護 論

平尾 靖編

非行一補導と矯正教育

湯沢雅彦編

老 年 学 入 門

星野貞一郎・藤村 哲
原田信一・井田範美編

障 害 福 祉 入 門

早川和男・和田八束
西川桂治編

住 宅 問 題 入 門
†

末永俊郎編

現 代 心 理 学 入 門

大山 正・詫摩武俊
中島 力著

心 理 学
<第2版>

麦島文夫・安香 宏
森 武夫著

心 理 学 要 論

柿崎祐一ほか編 (全8巻)

心 理 学

- (1) 知覚・認知 柿崎祐一・牧野達郎 編
- (2) 学習・思考 金城辰夫・斎賀久敏 編
- (3) 動機づけ・情緒 吉田正昭・祐宗省三 編
- (4) 人 格 星野 命・河合準雄 編
- (5) 発 達 岡本夏木・三宅和夫 編
- (6) 社会心理 辻 正三・中村陽吉 編
- * (7) 家族心理 古畑和孝・小嶋秀夫 編
- * (8) 産業心理 森清善・行長山泰久 編

大山 正・藤永 保
吉田正昭編

心 理 学 小 辞 典

大山 正・池田 央
武藤真介編

心 理 測 定 ・ 統 計 学

河内十郎・深田芳郎著

* 生 理 心 理 学 の 基 礎

沢田慶輔・小口忠彦編

教 育 心 理 学

小口忠彦・辰野千寿編

教 育 心 理 学 原 論

波多野詔余夫・久原恵子著

入 門 教 育 心 理 学

北尾倫彦・杉村 健編

児 童 学 習 心 理 学

依田 明・永野重史著

* 入 門 児 童 心 理 学

深谷昌志・深谷和子著

現 代 子 ど も 論

津留 宏編

青 年 心 理 学

上出弘之・伊藤隆二編

知 能

金田利子著

乳 幼 児 保 育 論

岡堂哲雄編

家族心理学

安藤瑞夫編

産業心理学

山田雄一編

組織心理学

平尾 靖編

犯罪心理学

梅津耕作編

自閉児の行動療法

梅津耕作編

*自閉児の治療教育

勝田守一編

現代教育学入門

中内敏夫編

教育学概論

有吉 保編

中世日本文学史

神保五弥編

近世日本文学史

三好行雄編

近代日本文学史

三好行雄・竹盛天雄編

近代文学

(1) 黎明期の近代文学

(2) 明治文学の展開

(3) 文学的近代の成立

(4) 大正文学の諸相

(5) 現代文学の胎動

(6) 昭和文学の実質

(7) 戦後の文学

(8) 近代の詩歌

(9) 現代の詩歌

(10) 文学研究の主題と方法

山崎正一・田島節夫編

現代哲学入門

沢田允茂編

哲学

城塚 登編

西洋哲学史

山崎正一・田島節夫編

哲学研究案内

城塚 登編

社会思想史入門

荒川幾男・生松敬三編

近代日本思想史

堀米庸三編

現代歴史学入門

井上光貞編

日本史入門

西嶋定生編

東洋史入門

井上幸治編

西洋史入門

道 喜美代・渡辺ミチ編

家 政 学

山崎俊雄編

現代自然科学入門

白井俊明著

無機化学入門

—以下逐次刊行—

目 次

は し が き

第1章 管理会計とは	1
1 管理会計の意義	1
2 わが国の管理会計の推移	5
3 構造的意思決定会計	7
4 業務的管理会計	10
[参 考 文 献]	16

第1編 業務的計画会計

—業務的管理会計(1)—

第2章 短期利益計画	19
1 計 画 の 意 義	19
2 企業経営と利益	22
3 短期利益計画の特徴	24
4 利益計画の進め方	25
5 短期利益計画のための損益分岐点分析	29
6 短期利益計画のための製品別・ 市場別(セグメント別)損益計算	40
7 予算の編成と予算によるコントロール	45
[参 考 文 献]	46

第3章 業務的個別計画	47
--------------------------	----

1 業務的個別計画の意義	47
--------------------	----